ミラクル・ワールド／ブッシュマン（1981）

THE GODS MUST BE CRAZY

メディア 映画
ジャンル コメディ
製作国 南アフリカ
時間 109分
初公開日 1982/02/11
公開情報 東宝東和

【解説】

ニカウさんを一躍世界的なスター（日本だけか？）に押し上げた異色のコメディ。あるセスナのパイロットがコカ・コーラのビンを空からポイ捨てする。それがたまたまブッシュマン族の部落に落下、神様がくれた便利な道具と一族そろって大喜び。が、やがてビンをめぐる争いが起こり、部族の不和に怒ったニカウ。神様にビンを返すため世界の果てを目指して旅に出る……。ブッシュマンは、南アフリカ・ボツワナ共和国の広大なカラハリ砂漠に居住し、“まぼろしの地球最古の人類”と呼ばれる民族。彼らは文明とはまるで縁のない、人類の原始を思わせる５千年前と全く変わらない生活を送っている。物を所有するという概念がなく、罪、罰、掟という考えもなければ、お金もない。そしてその性格はたいへん友好的で陽気な平和主義者たちである。映画は、そんな彼らに突然“文明”が舞い込んできた事による様々なハプニングを、彼らの粗野な魅力と共に、コメディ・タッチで描いてゆく。こうして始まった珍道中に、あがり症の生物学者と、都会から抜け出した美しい娘がからむ挿話などが盛り込まれ、天然ボケのオンパレードでドタバタ劇が展開。特に生物学者扮するマリウス・ワイアーズが最高のキャラクターを見せ大いに笑わせてくれる。ストーリーに文明に対する諷刺も盛り込まれるが、サイレント時代の喜劇を思わせるようなコテコテギャグが早回しのフィルムでテンポよくコミカルに進み、肩に力の入ることなく気楽に楽しめる。主人公ニカウの“演じる”という意識がない、自然のままに振る舞っている様子・仕草が独特の面白味を出している快作。なお、この大ヒットによって製作された第２作「コイサンマン」まではこの意図を継承しているが、３作目の「ミラクル・ワールド／ブッシュマン３」に至ってはそのキャラクターのみが残された、本作とは全く別物の奇妙奇天烈な物語に変貌している。

【クレジット】

監督	ジャミー・ユイス	Jamie Uys
製作	ジャミー・ユイス	Jamie Uys
	ボート・トロスキー	Boet Troskie
脚本	ジャミー・ユイス	Jamie Uys
撮影	バスター・レイノルズ	Buster Reynolds
音楽	ジョン・ボショフ	John Boshoff
出演	ニカウ	Nixau
	カボ	
	サンドラ・プリンスロー	Sandra Prinsloo
	マリウス・ウェイヤーズ	Marius Weyers
	ブライアン・オショーネシー	Brian O'Shaughnessy

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.